

Canterbury Earthquake

(後に Darfield Earthquake と改称)

IAEG出席時(9/6-9/9)情報、GNS、
Geo-Net、現地新聞による

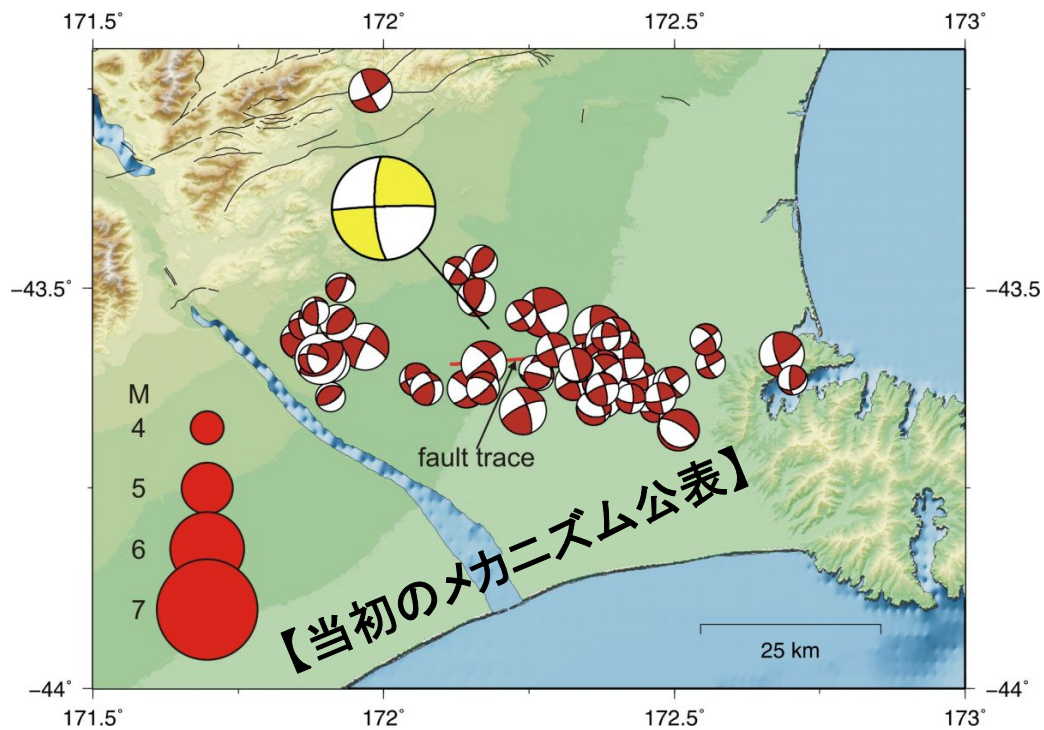
2010. 9. 17、 9. 24一部改

地震の概要

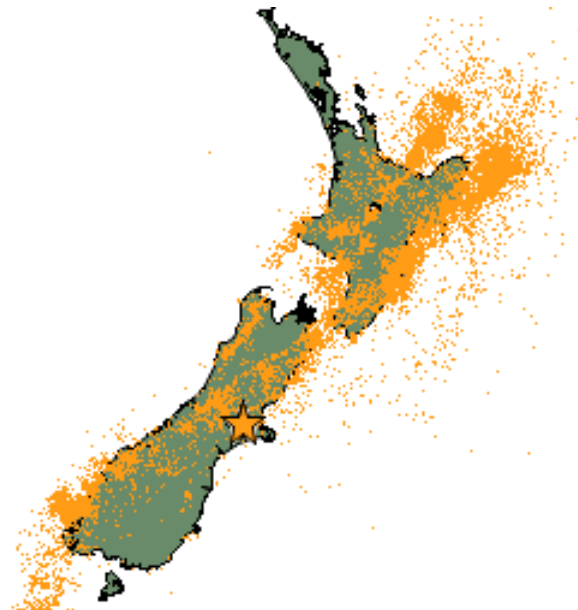
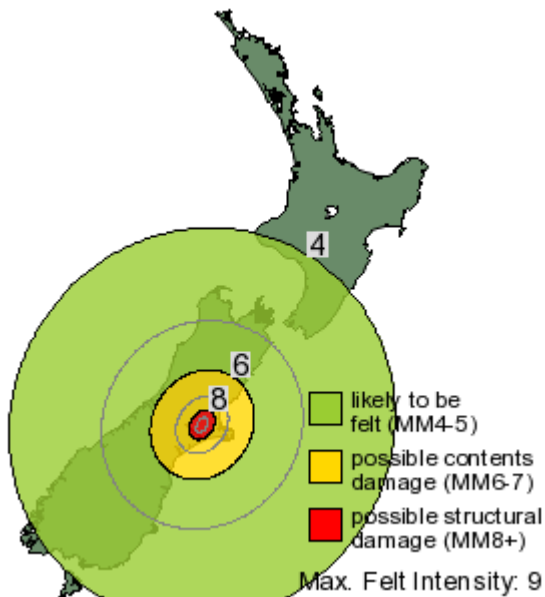
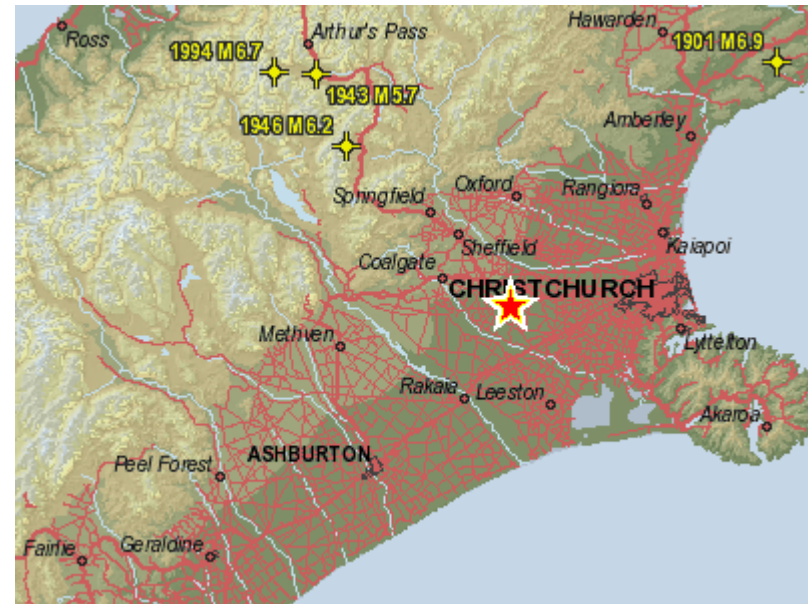
(Geo-netによるカタログ)

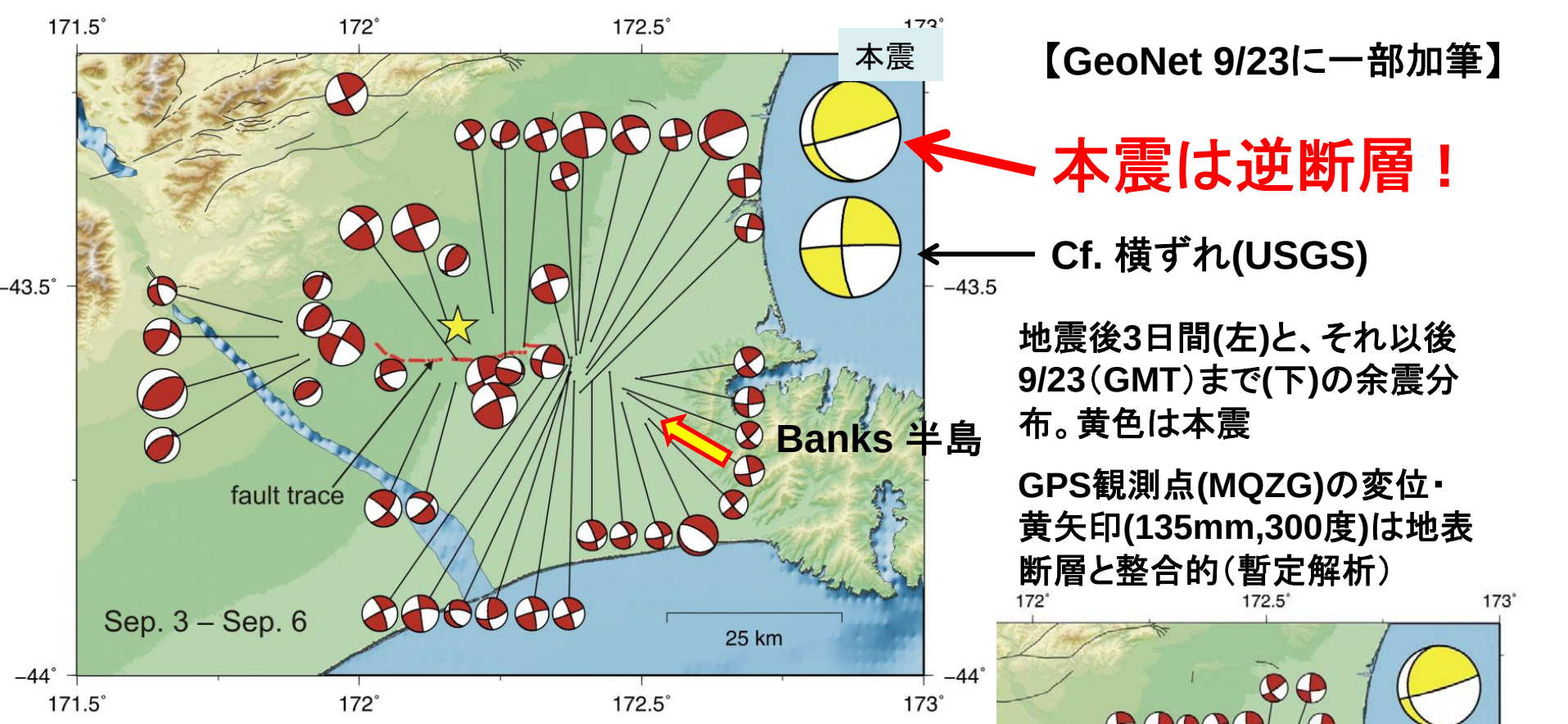
Reference Number	3366146/G
Universal Time	September 3 2010 at 16:35
NZ Standard Time	Saturday, September 4 2010 at 4:35 am
Latitude, Longitude	43.55° S, 172.18° E
Focal Depth	10 km
Moment magnitude	7.1
Region	Canterbury
Location	•10 km south-east of Darfield •20 km south-east of Coalgate •40 km west of Christchurch

本地震による犠牲者がゼロのためか、日本でほとんど報道されず

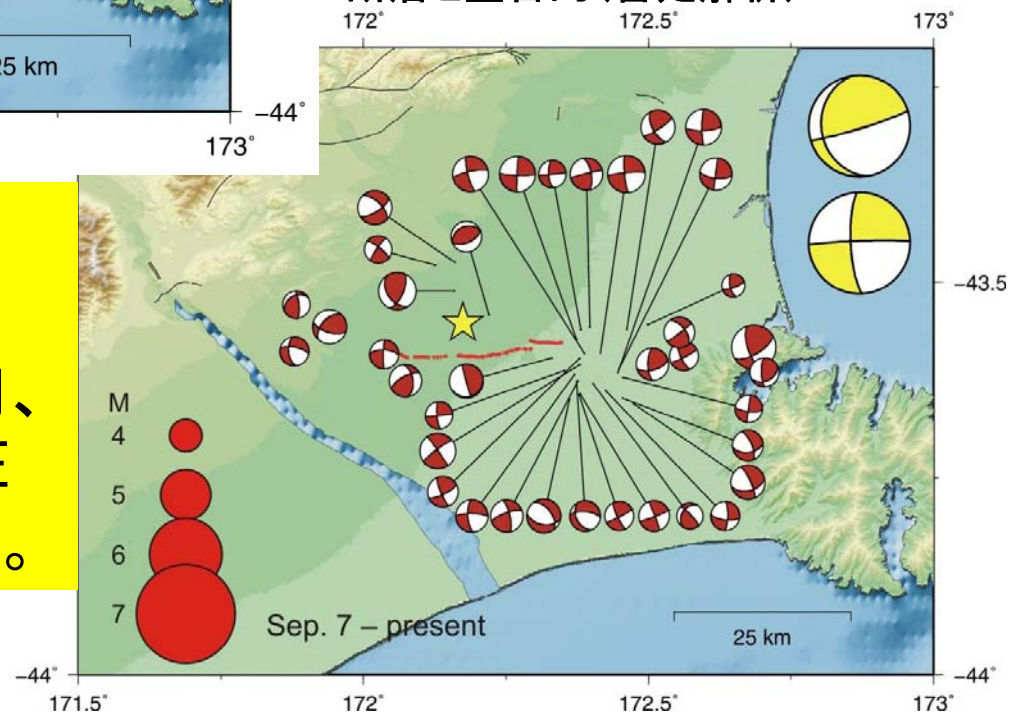


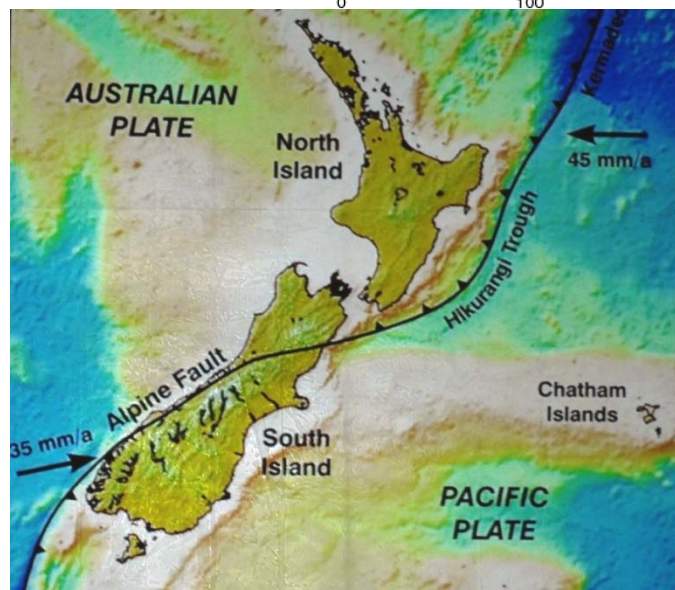
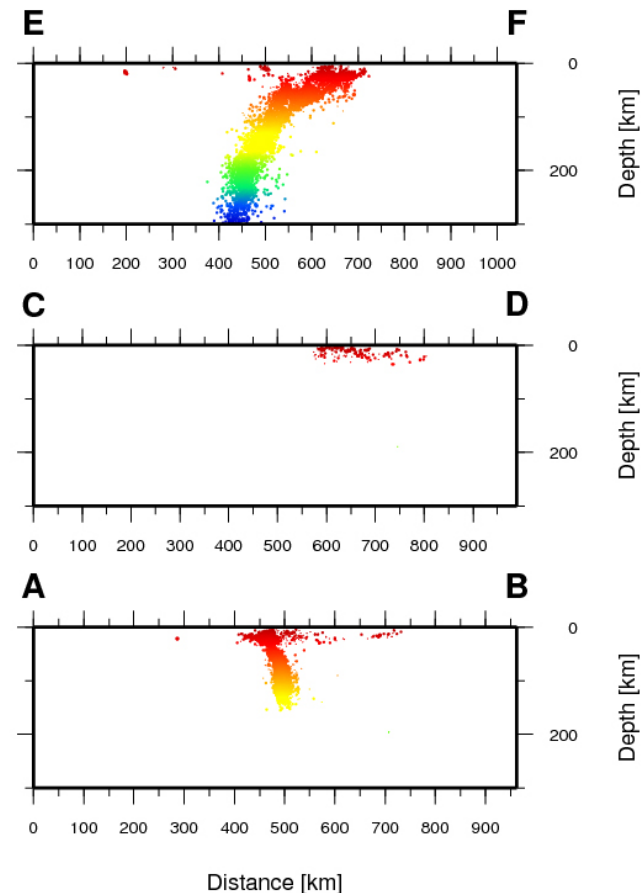
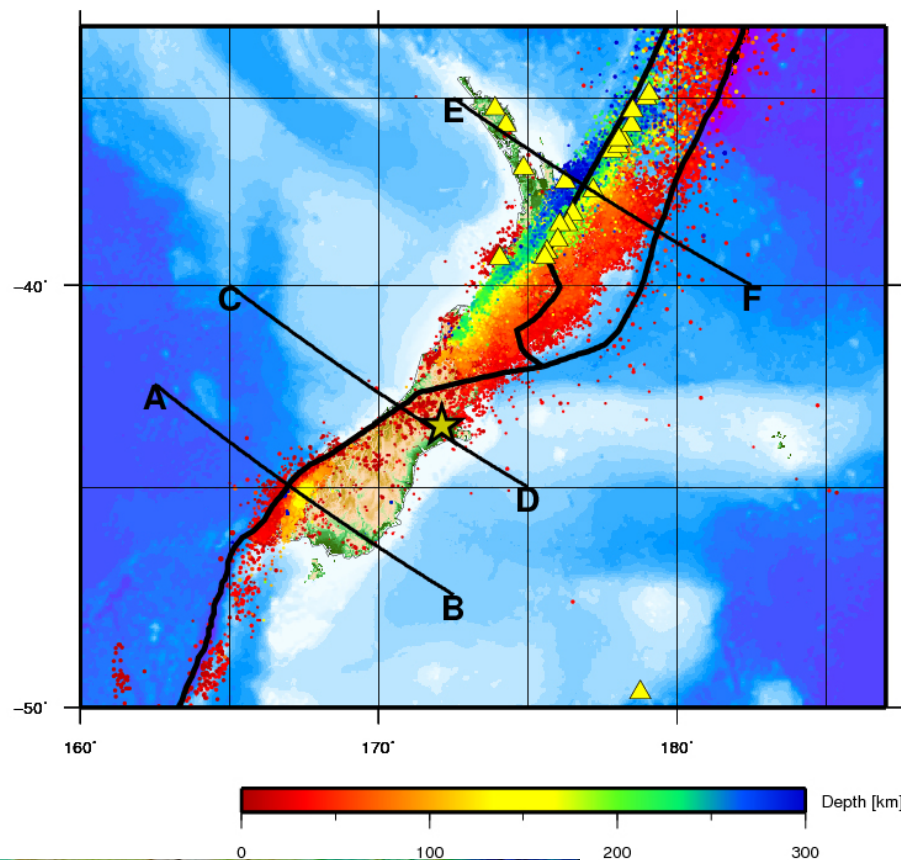
【GeoNet HPより】





既存断層の一部再活動を示唆。
Banks半島の東方、Chatham海
膨(別スライド)に、同じ東西方向、
最大700kmの正断層が多数存在
することとの関連性をにじませる。





NZは、ねじ曲げられたプレート境界にあり、地質的活動が活発。しかし、今回の地震は活断層が知られてなかった場所に生じた

←Dr.Hamish
の講演より借用



Darfield Earthquake Fault Trace



GNS:ニュージーランド地質・核科学研究所の略号

地表のずれは、車の轍、樹木列、道路、灌漑用水路などが指標になる

【GNS資料 に加筆】

右横ずれ



【GNS資料 に加筆】

右横ずれ

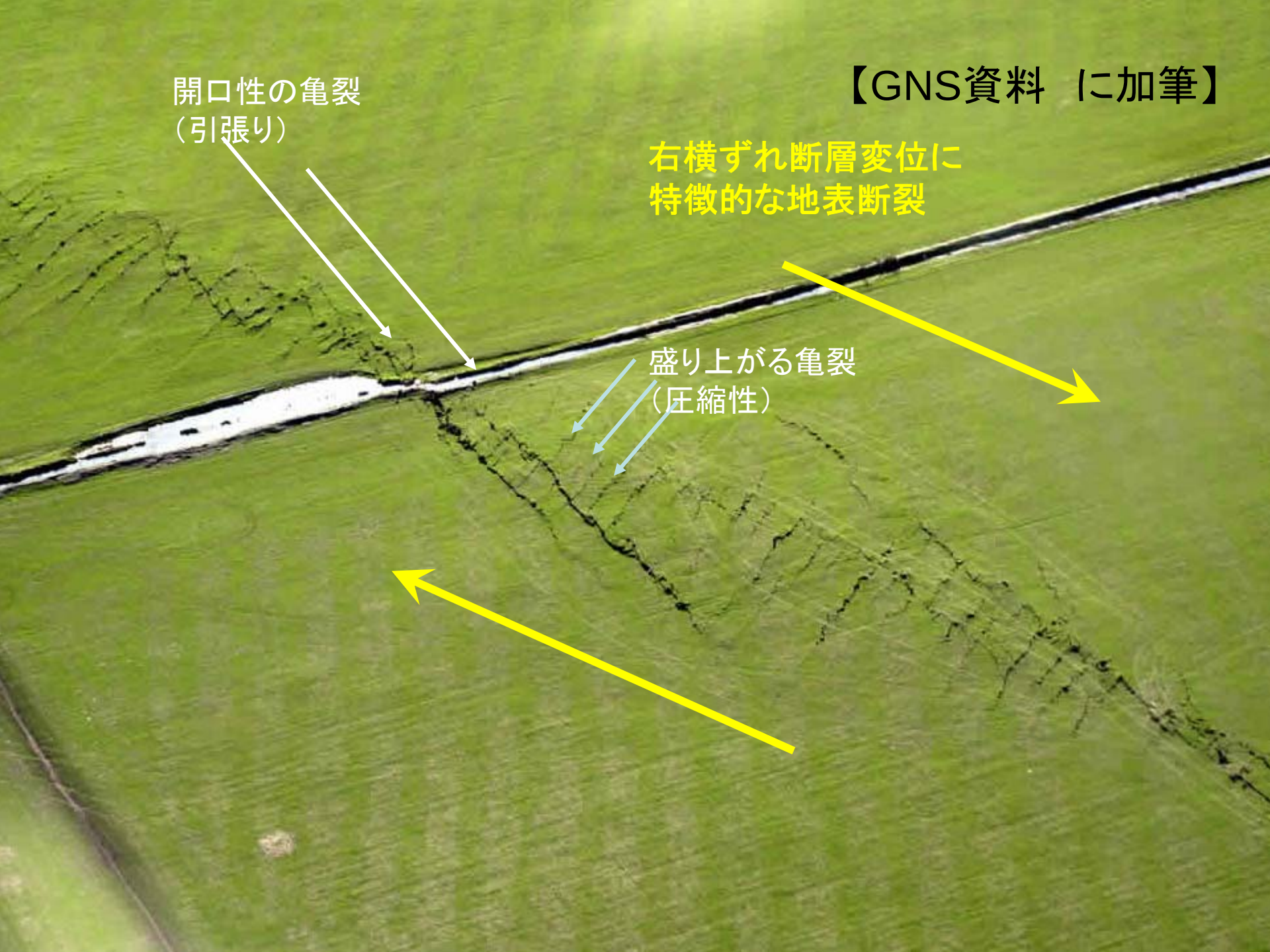


【GNS資料 に加筆】

開口性の亀裂
(引張り)

右横ずれ断層変位に
特徴的な地表断裂

盛り上がる亀裂
(圧縮性)

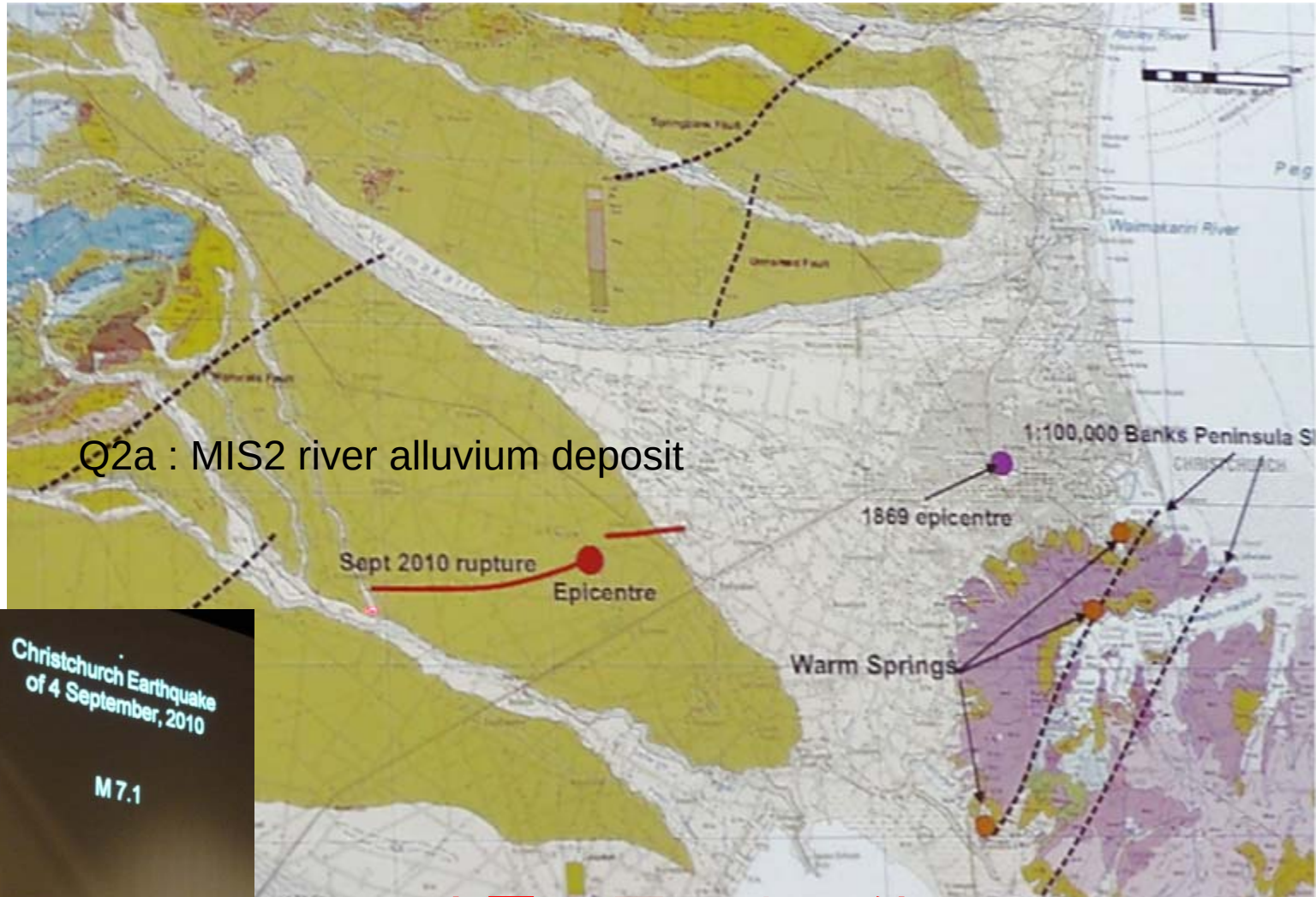




四電・西坂氏撮影

IAEG(国際応用地質学会)@Auckland,NZ 9月9日 臨時速報会での画面より

地震は、活断層が認識されていなかった地域に生じた



地震断層の出現位置

